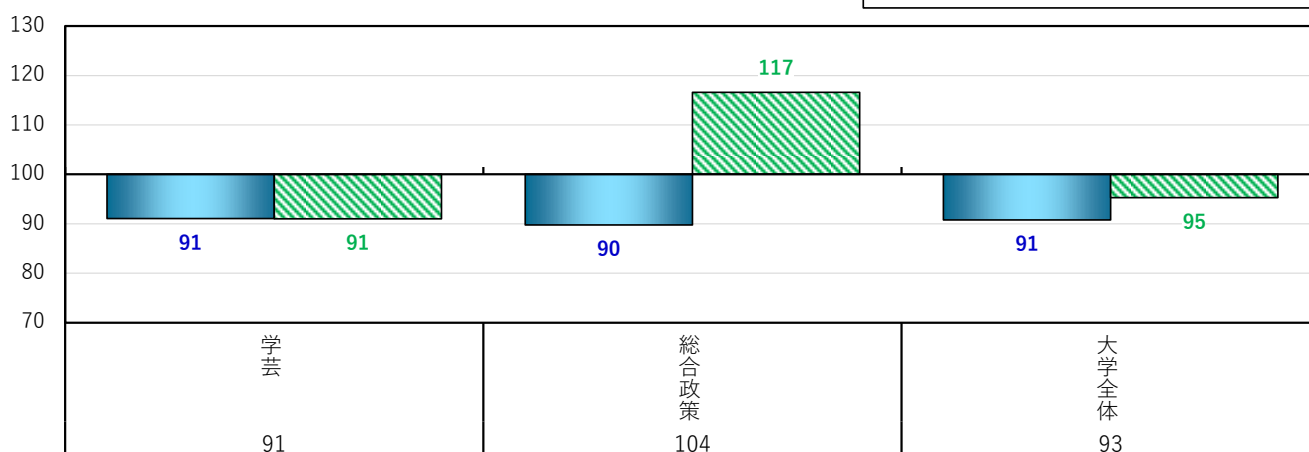


津田塾大：大学全体ではやや減少、特に一般は4年連続減少 一般：-160人 共テ：-114人

※前年度の志願者数を100とする指数

※学部名の右、学科名の下の数値は全体の指数

■ 一般方式 ■ 共テ利用方式



主な入試変更点 入試科目：学芸(数)<共テ・C方式(前期)>…国+数2+外+(歴公 or 理)→数2+外+(国 or 歴公 or 理)
 <共テ併用・B方式>…<共テ>数2+外+(国 or 歴公 or 理)、<個>数
 →<共テ>数2+外、<個>数

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、274人(93)のやや減少。志願者数は、4,000人を下回った。方式別では、一般方式は、160人(91)の減少で4年連続減少。共通テスト利用方式は114人(95)のやや減少で前年度やや増加の反動。学部別では、(総合政策)(104)は5年連続減少の反動はなくやや増加、(学芸)(91)は減少。

<一般方式>

- 学芸(91)は、減少で4年連続減少。学科別では、5学科中4学科が減少。特に(数)(63)は大幅減少で、2019年度以降前年度の反動による増減が継続。(国際関係)(83)もコロナ禍の影響による系統の人気低下で大幅減少、2019年度に募集人員が115人になった以降で最少の志願者数。一方で、(多文化・国際協力)(127)は、コロナ禍の影響による系統への低い人気も継続にもかかわらず、前年度減少の反動で大幅増加。志願者数は4年ぶりに300人を上回った。
- 総合政策(90)は、減少で3年連続減少。2017年度の新設以降最少の志願者数。

<共通テスト利用方式>

- 学芸(91)は、前年度増加の反動で減少。学科別では、5学科中3学科が減少。特に、(英語英文)(66)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(多文化・国際協力)(79)はコロナ禍の影響による系統への低い人気もあって、2019年の新設以降4年連続大幅減少。志願者数も100人を下回り過去最少。一方で、(国際関係)(126)はコロナ禍の影響による系統への低い人気は継続しているが、大幅増加で前年度の反動による増減が継続。募集単位別では、(数)<共テ併用・B方式>(94)は入試科目削減による負担軽減にもかかわらず、前年度大幅増加の反動でやや減少。
- 総合政策(117)は、大幅増加だが志願者数は3年連続400人台で、2017年度新設時の志願者数と比較するとおよそ3分の1。方式別では、<C方式(前期)>(134)は大幅増加。